

R4当初：2,346千円 (一)2,188 (国)158
R3当初：0千円 (一)0

事業概要

モデル地域の市教育委員会に統括推進リーダー（加配）を配置し、15年間を見通した保幼小中の連携を組織的に進めると共に、県教育委員会と市教育委員会が連携し、未然防止や学力向上につながる取組の検証や改善が適切に行われるよう指導助言を行い、地域の実情に応じた効果的な取組を実施することで、自治体レベルで子どもの自己指導能力を組織的に育成し、不登校を未然に防ぐ実践研究を推進する。

期待される効果

- 児童生徒理解を基盤とした組織的な体制の確立
 - 組織的な指導力・支援力が向上する
 - 地域で活躍できる児童生徒の育成
 - 児童生徒の自尊感情が育まれ、人権感覚や社会性、規範意識が高まる
- 不登校や、いじめ等の生徒指導上の諸問題の改善**

現状・課題

就学前

保育所保育指針の改定(H29)により保育所も「幼児教育施設」に位置づけられ、小学校への接続のさらなる充実が求められている

- ・新規不登校や、一部学校での暴力行為の増加
- ・学級経営にばらつき
- **学年・学級経営の目的や方法の共有が不十分**
- ・教師の経験則に依存した授業
- **「わかる・できる」授業づくりが不十分**
- ・生活ルールや規範意識の醸成にかかる系統性をもった取組
- ・児童の発達段階や課題に応じた適切な指導や支援

小学校

- ・高い新規不登校出現率
- ・教師主導型の一斉授業→分かる楽しい**授業の創造**
- ・学校行事の運営（教師主導、リーダー育成等への偏り）
- ・取組の学年差→**学校全体での継続した集団指導の弱さ**
- ・小学校から継続する問題を抱える生徒の支援

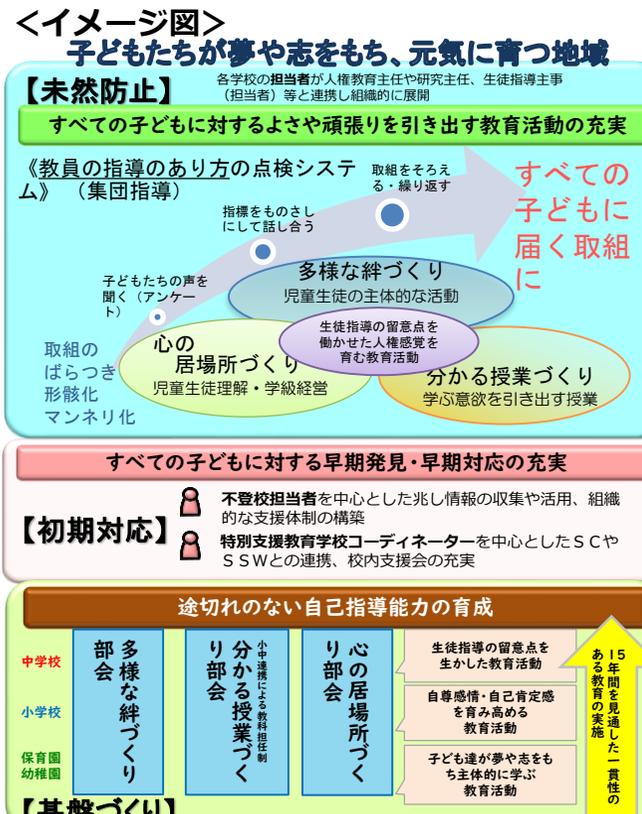
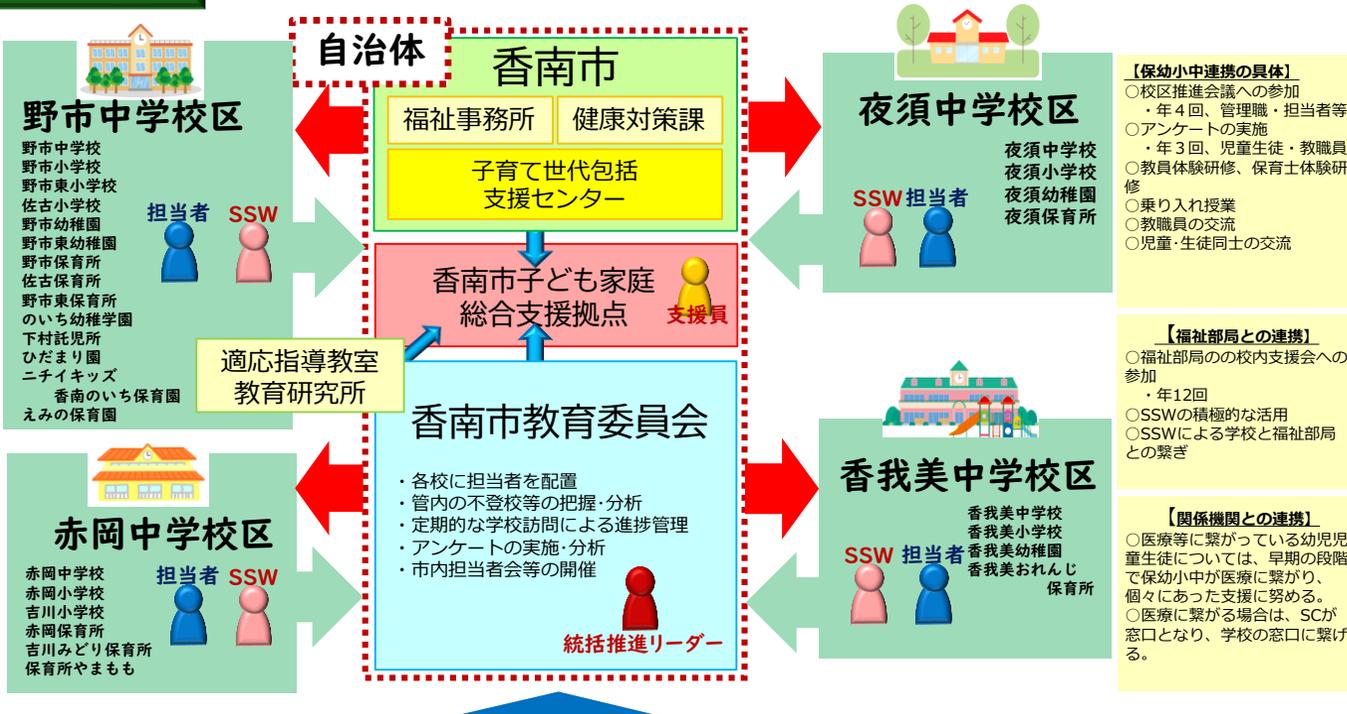
中学校

事業目標

- 保幼・小・中15年間をつなぐ連携の推進
 - 教育課程に関連づけられた計画的・組織的な人権教育・生徒指導の推進
 - 児童生徒の自尊感情・自己有用感の育成
 - 校内支援会の定期的・効果的な実施
- モデル地域の生徒指導上の諸問題の状況が全国平均を下回り学力は全国平均を上回る**

連携 接続を意識した情報共有、継続した取組を協議できる場や機会が不十分、一部の教職員への負担

実施内容 = 保幼小中の連携を強化し、自治体全体で不登校対策や学力向上対策を総合的に推進するモデル事業を支援



県教育委員会

推進リーダー配置支援、専門家による各学校の取組への指導助言、県外先進校への視察等への支援、幼保支援アドバイザー等派遣による助言 等

15年間を見通した一貫性のある教育の実施

取組内容の計画（取組の検証・改善サイクルの例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
進捗管理	【未然防止】子どもの声（児童生徒アンケート）に基づいた検証・改善を繰り返し、取組の浸透を図る												
	実態把握	課題→目標 計画	実践	アンケート	検証	計画改	実践	アンケート	検証	計画改	実践	アンケート	検証
	推進会議・ 学年会等	校内 研修会		推進会議・ 学年会等	校内 研修会		授業 研究会		推進会議・ 学年会等	校内 研修会		推進会議・ 学年会等	
中学校区 (保幼小中) の取組	校区推進会議 安心して 過ごすための 規範づくり	校区研修・合同3部会 保幼小中 連絡会		校区推進会議 小中合同 授業研究	小中交流行事 教員体験研修 保育士体験研修		校区研修・合同3部会 安心して 過ごすための 規範づくり	小中合同 授業研究	保幼小中交流行事 公開保育・協議		校区推進会議 安心して 過ごすための 規範づくり	小中合同 授業研究	校区推進会議 保幼小引継ぎ会
不登校 初期対応	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会	校内 支援会
	※校内支援会には、SC、SSWの他、市の福祉部局担当者も参加し多面的に支援の具体策を考える。 ※合同支援会には、保幼小中の担当者が参加し、引き継ぎ等が必要なケースを中心に話し合う。												
市教委	調査研究委員会 (年間計画)			調査研究委員会 (課題検証)					調査研究委員会 (課題検証)			調査研究委員会 (課題検証)	
	市内担当者会 (年間計画共有)			市内担当者会 (相互進捗把握)					市内担当者会 (検証)			市内担当者会 (検証)	